				4	3	2	1	評価なし	令和2年	令和元年	増減
経営活動の方針	1 経営参加と協働 加と協働 2 研修・育	1	学校は、教職員一人一人が、専門職としての職責や役割を果たし、主体的な経営参画のもと、教育活動と経営活動を、体化させた党が運営を進めることがで	4	61	2	0	0	3.03	3.12	
			経営活動を一体化させた学校運営を進めることができたか(進めようとしているか)。	5.4%	82.4%	2.7%	0.0%	0.0%	0.00	3.12	▲ 0.09
			ち、児童生徒の人権と尊厳に配慮したかかわりを大		0	3.10	3.18				
		2	事にし、より適切な教育環境を整えることができたか (整えようとしているか)。	13.5%	73.0%	4.1%	0.0%	0.0%	0.10	3.16	▲ 0.08
		3	学校は、各組織・部門が有機的に連携し、円滑で効果的な校務運営の改善を図ることができたか(図ろうとしているか)。 学校は、肢体不自由教育の専門性の向上、各職種の専門性の向上を図るため、研修の充実を推進することができたか(推進しようとしているか)。	8	54	5	0	0	3.04	3.07	
				10.8%	73.0%	6.8%	0.0%	0.0%			▲ 0.03
		4		5 48	61	2	0	0	3.03	3.10	
	3 連携·支 援		学校は、教育活動の効果的かつ適時的な情報発信を	5.4%		2.7%	0.0%	0.0%			▲ 0.07
		5	工夫し、保護者、地域、関係機関との相互連携や協力体制づくりなどを進めることができたか(進めようと	9	57	1	0		0.0% 3.17 3.23	3.18	
			しているか)。 学校は、地域におけるセンター的機能を発揮するな	12.2% 14	77.0% 49	1.4%	0.0% O	0.0%			▲ 0.06
		6	ご、地域から信頼され、地域と交わりある学校づくりを 進めることができたか(進めようとしているか)。	18.9%	66.2%	4.1%	0.0%	1.4%		3.23	▲ 0.06
	4 教育環 境の整備		学校は、危機管理意識と安全管理体制を充実させ、 安定かつ安心な教育環境の整備に取り組むことがで きたか(取り組もうとしているか)。	11	53	3	0	0	3.12	3.18	
		7		14.9%	71.6%	4.1%	0.0%	0.0%			▲ 0.06
			学校は、経営活動及び教育活動双方において、「わかりやすさ」「伝わりやすさ」を重視し、必要な合理的配慮を充実させることができたか(充実させようとしているか)。	7	57	3	0	0	3.06	3.07	
		0		9.5%	77.0%	4.1%	0.0%	0.0%			▲ 0.01
		9	学校は、円滑な教育活動推進のために、より効果的・ 効率的な財務運営を進めることができたか(進めよう としているか)。	8	58	1	0	0	3.10	3.18	
		ย		10.8%	78.4%	1.4%	0.0%	0.0%			▲ 0.08
		10	学校は、教務・舎務・事務の円滑な校務連携を図り、 会議や文書作成等の効率化、業務の連動などについ て改善・工夫を進めることができたか(進めようとして いるか)。	12	53	2	0	0	3.15	3.04	↑
		10		16.2%	71.6%	2.7%	0.0%	0.0%			0.11
	1 児童生 徒の将来を 見据えた教 育活動の展 開	11	学校は、子ども一人一人の将来を見据え、人とかかわる力や学ぶ力を育むための教育活動の充実が図られたか(図ろうとしているか)。	12	52	3	0	0	3.13	3.17	
				16.2%	70.3%	4.1%	0.0%	0.0%			▲ 0.04
		10	学校は、個々の教育的ニーズに応じて、個別の指導計画及び個別の教育支援計画を積極的に活用し、卒業後の自立や社会参加につながる確かな力を身に付けさせるよう取り組むことができたか(取り組もうとしているか)。	9	55	3	0	0	3.09	3.17	
		12		12.2%	74.3%	4.1%	0.0%	0.0%			▲ 0.08
	2 児童生徒ー 人一人の教育 的ニーズに応じ た指導の充実		学校は、自発性や主体性を育むため、指導形態や指導体制組織を効果的に活用し、個の学びと集団での	9	55	3	0	0	3.09	3.19	1
		13	学びをバランスよく進めることができたか(進めようとしているか)。	12.2%	74.3%	4.1%	0.0%	0.0%			▲ 0.10
教育活動の方針	3 新学習 指導要領へ の移行を まえた教育 課程の 確実 施と評 価の 推進		学校は、カリキュラム・マネジメントをツールとし、児童 生徒の学びの連続性を意図した教育課程の充実と改	3	62	2	0	0	3.01	2.89	1
		14	善を図ることができたか(図ろうとしているか)。	4.1%	83.8%	2.7%	0.0%	0.0%			0.12
		15	学校は、発達段階と一人一人の学びの状況を的確に とらえ、「自立活動の指導」の改善・充実を図ることが できたか(図ろうとしているか)。	9	57	1	0	0	3.12	3.16	
				12.2%	77.0%	1.4%	0.0%	0.0%			▲ 0.04
		10	学校は、地域資源を活用した学習活動や交流及び共同学習を進めるとともに、児童生徒の社会参加の取組を充実させることができたか(充実させようとしているか)。	3	48	16	0	0	2.81	3.15	↓
		10		4.1%	64.9%	21.6%	0.0%	0.0%			▲ 0.34
	4 一人一人の キャリア発達を踏 まえた進路指導 の推進	17	学校は、キャリア発達をふまえ、各学部段階における 進路学習・進路支援を充実させることができたか(充 実させようとしているか)。	5	60	2	0	0	3.04	3.17	↓
				6.8%	81.1%	2.7%	0.0%	0.0%			▲ 0.13

5 児童生徒の 発達段階・年齢		学校は、発達段階及び生活段階に即した健康教育、 安全教育、防災教育、道徳教育を進めるとともに、人 権尊重意識を育てる指導を充実させることができたか (充実させようとしているか)。	9	57	1	0	0	3.12	3.20	
段階に即した生徒指導の推進			12.2%	77.0%	1.4%	0.0%	0.0%			▲ 0.08
6 学校生活を 支える体育・健	19	学校は、教務・舎務及び専門職が連携して児童生徒の健康管理を進め、医療的ケアへの対応、食に関する指導の充実など、健康の保持・増進を図ることができたか(図ろうとしているか)。	15	47	5	0	0	3.15	3.37	↓
康に関する指 導の推進			20.3%	63.5%	6.8%	0.0%	0.0%		0.07	▲ 0.22
7 寄宿舎における年齢段階	20	学校は、寄宿舎における個別の指導計画に基づき、 一人一人に応じた指導と社会性を育む指導を充実さ せることができたか(充実させようとしているか)。	9	46	2	0	10	3.12	3.24	↓
や障がいの特性等に応じた指導の推進			12.2%	62.2%	2.7%	0.0%	13.5%			▲ 0.12